

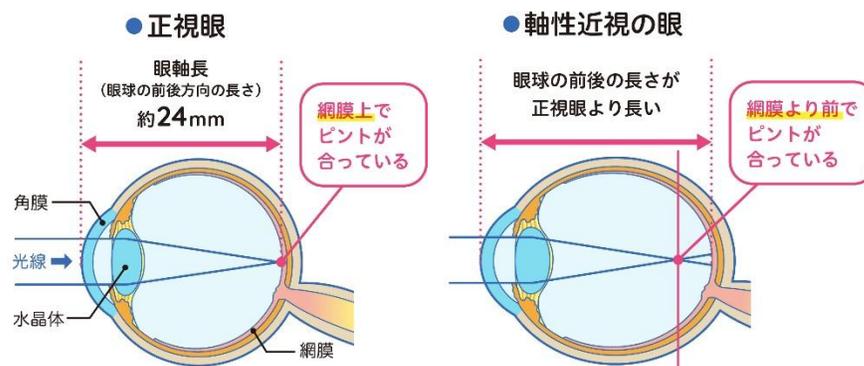
近視進行抑制治療（リジュセアミニ点眼液 0.025%）

近視の進行を抑制する点眼液です



● 近視進行抑制治療とは

近視は、主に眼球が前後に伸び(眼軸長延長)、網膜より前に焦点が合ってしまう軸性近視に起因します。一度伸びた眼軸は元に戻らないため、特に成長期の時期に「進行を抑える治療」が重要です。近視が高度化すると、網膜剥離や緑内障など重篤な眼疾患のリスクが高まります。くろだ眼科では、低濃度アトロピンを用いた点眼剤「リジュセアミニ点眼液 0.025%」による近視進行抑制治療をご提供しています。



● リジュセアミニ点眼液の特徴

- ・低濃度のアトロピン硫酸塩水和物を含有し、近視進行を抑制する効果が確認されています。
- ・国内製造、防腐剤フリー、個梱包で管理しやすく衛生的です。
- ・1日1回、就寝前に両眼へ1滴点眼。（1箱30本／30日分）

● このようなお子さまにおすすめです

- ・年齢5～18歳までの軽中等度近視のお子さま
- ・両親または兄弟姉妹に強度近視の方がいる
- ・眼鏡の度数が頻繁に変わっている
- ・将来の視力低下が心配

※本治療は、近視の進行を抑えることを目的としています。ただし、完全に近視の進行を止めることはできません。また、この治療は視力を回復させるものではありません。近視の程度に応じて眼鏡やコンタクトの併用が必要になる場合があります。

● 治療の流れ

1. 初診・検査・診断（保険診療）

屈折異常・視力・眼軸長・眼底などの精密検査を実施し、治療の適応を判断します。

2. 初回処方（自由診療）

同意のもと、1ヶ月分(1箱30本)のリジュセアミ二点眼液を処方。1回1滴、1日1回就寝前に点眼します。

3. 1ヶ月後の経過確認

副作用や効果の有無を評価し、引き続き処方(3ヶ月分)へ移行。

4. 3ヶ月ごとの定期受診

視力・眼軸長などの検査を継続し、合併症や効果判定を実施。10代後半までの継続を推奨します。

【治療の費用】

治療費用（検査・診察・薬剤費用）	
検査・診察費用	¥2,200（税込）
薬剤費用（1箱30本）	¥4,380（税込）

※検査・薬剤費用はすべて自由診療（公的医療保険の対象外）となります。

● 副作用と注意点

- ・低濃度アトロピンのため、散瞳(まぶしさ)、調節麻痺(手元が見えづらい)などの副作用は軽微で、就寝前に点眼すれば翌日の日常生活に支障はほとんどありません。
- ・まれに目のかゆみや充血が見られることがありますが、多くは一時的です。
- ・定期的な検査を行い、安全性を確認しながら治療を継続します

● よくあるご質問

Q：どれくらい続ければいいですか？

→ 目安は「近視の進行が安定する 10 代後半まで」。個々の進行速度によって期間は変わります。

Q：点眼を忘れた場合は？

→ 忘れた分は点眼せず、次の就寝時前に通常どおり 1 回 1 滴を点眼してください。1 日に 2 回点眼したり、1 回に 2 滴点眼してはいけません。

Q：治療をやめるタイミングは？

→ 医師と相談のうえで、進行状況とリスクバランスを見ながら判断します。

● 最後に

くろだ眼科では「お子さまそれぞれのライフスタイルや進行状況」への配慮を持って、お子さま一人ひとりの目の状態に合わせた最適な治療をご提案しています。

ご不明点やご相談がある方は、いつでもお気軽にお問い合わせください。